

第 168 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年 4 月 26 日(火)18:30~20:30

場所:本院 5F ラウンジ

4 月と 5 月は予行多数にて他部門の演題は受け付けておりません。

18:30~20:00

●研究セッション 臨床工学会予行 司会:内野順司

一般演題

1.「汎用超音波画像診断装置(エコー)活用における問題点と臨床工学技士(CE)の役割」土屋正二

2.「透析液原液集中配管による個人用透析装置システムの構築と評価」山本 淳

3.「透析開始前薬液残留確認に重要性について」塚本 健

以下3演題ベストプレゼンテーションアワード(BSA)

4.「透析用監視装置部品交換時の清浄化対策」亀山直也

5.「維持透析患者における Arterial Velocity pulse Index(AVI)の有用の検討」西東 恵理

6.「維持透析患者における動脈硬化指標(Arterial Pressure volume Index)の有用の検討」鈴木琴美

一般演題

7.「維持透析患者における動脈硬化指標 AVI・API の有用性の検討」大釜健広

20:00~20:30

●新人自己紹介プレゼン 7 名×3 分

★ME 勉強会の内容は(一部)メーカーとの秘密保持契約を締結したものやそれに準ずる内容のものが含まれています。

また原則的に一般の方の参加を募集していません。しかし勉強熱心な誠仁会の職員および必要性の認められる研究者については参加、発言を認めています。そのため参加者を特定するために参加者名簿に記帳を義務付けています。

これまでお願いをしてきましたが無視する方もずいぶんいます。

今季よりルールを守らない者は参加をお断りする場合があります。

以上

第 169 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年 5 月 24 日(火)18:30~20:30

場所:本院 5F ラウンジ

5 月は予行多数にて他部門の演題は受け付けておりません。
特に他の演題があれば申し出下さい。

18:30~20:30

●研究セッション JSDT 予行 司会:大釜健広

- 1.「透析困難症対策としてのスコアリング化による透析液 Na 濃度 140 と 143mEq/L 透析との比較」丸博光
- 2.「組成の異なる透析液がアシドーシス是正に与える影響」~体重別での比較~ 土屋正二
- 3.「HORIBA 社製小型電極式血糖測定機器アントセンス III(ASIII)を用いた透析液測定 of 検討」羽賀浩史
- 4.「Continuous Syringe Extraction Method II(CSEM II)を用いた Na 出納の検討」~HD と OHDF の比較~ 石丸昌志
- 5.「血液透析患者における心臓足首血管弾性機能(Cardio Ankle Vascular Index: CAVI)と生命予後」鈴木敏弘
- 6.「ダイアライザからの溶出物質の安全性に関する検討」アレルギー様症状出現の原因物質は PVP か? 内野順司
- 7.「新しい動脈硬化指標 Arterial Velocity pulse index(AVI)、Arterial Pressure volume Index(API)の有用性」内野順司
- 8.「個別透析システムの開発」内野順司
- 9.「個人用透析装置を用いた個別透析液組成調整の検討」山本 淳

以上

第 170 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年 6 月 28 日(火)18:30~20:15

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:10

●ルーチンセッション 司会:山本 淳

1. 「佐倉 ME サービスの活動状況報告」 長谷川拓、井上学、黒川俊輔
2. 「川澄社製透析用血液回路セット「カーミライン KU」におけるプライミング不足の検証」 吉澤 翔太、羽賀 浩史
3. 「透析用監視装置における血液流量(QB)調整方法の検討」 榎邦明、大釜健広

19:15~20:15

●研究セッション 司会:羽賀浩史

1. 「血流量増加による透析効率の変化」 石丸昌志
2. 「高血流量透析に向けて」~逸脱患者の要因の集計と分析~ 看護部 伊藤孝子
3. 「医療機器不具合報告書(報告書)の集計報告」 倉持貴、山本淳
4. 「維持透析患者の食事実態調査に基づく栄養基準設定の試み」
~MIHAMA スタディ第 4 報・タンパク質摂取量と体組成および栄養指標との関係
誠仁会 栄養部 菅井啓太
5. 「透析患者における大動脈弁狭窄症 AS 患者の背景」 成田香取検査科 :岩井典子

以上

第 171 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年 7 月 26 日(火)18:30~20:15

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~18:52

●ルーチンセッション 司会:榎 邦明

- 1.「1 号用紙の集計方法についての検討」高岡雄太、石丸昌志
- 2.「医療機器不具合報告書(報告書)の集計報告」倉持貴、山本淳

18:55~20:55

●研究セッション 司会:吉澤翔太

- 1.「ニプロ社製 PES-E α 臨床性能評価」大釜健広、石丸昌志
- 2.「透析液変更が酸塩基平衡に与える影響」(最終報告) 土屋正二
- 3.「佐倉における血液流量増加による透析効率の変化」黒川 俊輔
- 4.「血液流量増加による血圧パターンの変化」鈴木琴美、石丸昌志
- 5.「血液流量(QB)UP による定期採血データに及ぼす影響の検討」青木芳隆、石丸昌志
- 6.「2015 年度誠仁会におけるレストレスレッグス症候群現状報告」西東恵理、石丸昌志
- 7.「全自動 pH/血液ガス分析装置 GASTAT-1820(GASTAT)を用いた透析液測定についての検討」~第 1 報~
竹澤和也 羽賀浩史
- 8.「全自動 pH/血液ガス分析装置 GASTAT-1820(GASTAT)を用いた透析液測定についての検討」~第 2 報~
竹澤和也 羽賀浩史
- 9.「透析患者における超音波法による骨密度測定の臨床的有用性の検討」大谷隆人
- 10.「持透析患者の食事実態調査に基づく栄養基準設定の試み」
~MIHAMA スタディ第 5 報・糖質摂取量と体組成および栄養指標との関係~ 栄養部 松本千広

以上

第 172 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年8月23日(火) 18:30~20:25

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:10

●ルーチン 司会:倉持 貴

- 1.「血液データ患者取り違い事例報告」 鈴木琴美、石丸昌志
- 2.「透析液流量設定方法の変更前後における透析液使用量の推移」 黒川俊輔
- 3.「ニプロ社製透析液供給システムにおける透析液供給能力について」 大釜健広、石丸昌志

19:10~20:25

●研究 司会:大釜健広

- 1.「長時間透析における個別透析[®]の適応」 山本 淳、諏訪友太
- 2.「当院の過去3年間の透析導入患者の肥満歴」
-透析導入患者の過去最大体重の実態- 栄養部 菅井啓太
クリアランスギャップ研究会予行
- 3.「エコー活用教育プログラム(US プログラム)を用いた指導とその有用性の検討」
鈴木将史、土屋正二
- 4.「穿刺針変更前後におけるクリアランスギャップの変化」 石丸昌志
- 5.「透析液の変更は透析量やADLに影響を及ぼすか」 土屋正二
- 6.「高血流量透析は安定した透析が出来るのか？」
~当会透析スコアを活用して~ 看護部 田村伸子

以上

第 173 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年9月27日(火)18:30~21:10

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~18:54

●ルーチンセッション 司会 鈴木琴美

- 1.「Total QB(TQB)計算業務の検討」 村山智彦、大釜健広、山本淳
- 2.「AVG における実血液流量測定についての検討」 羽賀浩史

18:54~19:18

●研究セッション

・日本 HDF 研究会 予行

- 1.「血液浄化治療モードによるアミノ酸漏出量の比較」 石丸昌志
- 2.「ATA®(Asymmetric Triacetate)膜の膜付着物からの検討」 山本淳

19:20~21:10

司会 山本 淳

・QB UP プロジェクト結果報告 検討1(透析スコア等)

- 3.「血液流量(QB)_{up} 結果とKT/V の変化分析」 大釜健広
- 4.「血液流量(QB)変更前後での透析スコアの検討」 鈴木琴美、大釜健広
- 5.「Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis における透析スコアでの臨床症状の変化」 平井宏明
- 6.「佐倉での血液流量 UP にともなう透析スコア変化の検討」 篠本拓也
- 7.「Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis(HBFR-HD)の検討」(透析スコア) 山田健司、鈴木将史、土屋正二

・QB UP プロジェクト結果報告 検討2(臨床データ)

- 8.「血液流量(QB)_{up} が Pi に及ぼす影響の検討」 青木芳隆、大釜健広
- 9.「Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis(HBFR-HD)の検討」~臨床検査データ比較~ 平井宏明
- 10.「佐倉維持透析患者での QBUP による血液データの変化」 長谷川拓
- 11.「Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis(HBFR-HD)の検討」 鈴木将史、山田健司、土屋正二

以上

第 174 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年10月25日(火)18:30~20:50

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:06

●ルーチンセッション 司会 羽賀浩史

- 1.「本院における1号用紙の集計結果報告」井上翼、榎邦明
- 2.「透析液 Na 濃度変更に伴う 10%NaCl 注の使用量減少について」成田事務 山本奈央、山崎恵理
- 3.「透析患者の未収金に対する支援」診療支援部 小野寺 美砂

19:10~19:58

●研究セッション1司会 山本 淳

QB UP プロジェクト結果報告 検討3(電解質、等)

- 4.「高血液流量透析(HBFR)における血清 Na 値の検討」榎邦明、大釜健広
- 5.「高血液流量透析(HBFR)における血清 K 値の変化の検討」塚本健、大釜健広
- 6.「透析後低 K 血症例患者における透析中の心機能の変化」平井宏明、鈴木敏弘
- 7.「佐倉での血液流量(QB)_{up}による低 IP への影響」長谷川拓、亀山直也

19:58~20:50

●研究セッション2 司会 平井宏明

- 8.「ボタンホール(BH)穿刺の有用性についての検討」羽賀浩史
9. 維持透析患者の食事実態調査に基づく栄養基準設定の試み
MIHAMA スタディ第 6 報 脂質摂取量と体組成および栄養指標との関係」栄養部 尾坂雅美
研究会予行
10. 第 12 回長時間透析研究会
「長時間血液透析における個別透析での透析液組成調整の評価」山本 淳
11. 20 回日本アクセス研究会
「バスキュラアクセス(VA)管理におけるポータブルエコーの活用法」土屋正二

以上

第 175 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年 11 月 22 日(火)18:30~20:50

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:30

●研究セッション1 司会 山本 淳

- 1.「HBFR-HD の検討」 ~P 吸着剤の処方状況~ 鈴木将史、猪又達也、山田健司、石丸昌志
- 2.「透析前 Na 値に影響を与える因子の検討」 山田健司、石丸昌志
- 3.「維持透析患者の食事実態調査に基づく栄養基準設定の試み」
~MIHAMA スタディ第7報 カリウム摂取量と体組成及び栄養指標との関係~ 栄養部 設楽悦子

第 44 回千葉県透析研究会 予行

- 4.「当院の医療機器管理の現状と今後の展望」 倉持貴、山本淳
- 5.「当院におけるレストレスレッグス症候群の現状調査」 西東恵理、石丸昌志

19:35~20:50

●研究セッション2 司会 竹澤和也

第 3 回日本血管血流学会 予行

- 6.「維持透析患者における動脈硬化指標 API(Arterial Pressure Volume index)の有用性検討」
鈴木琴美、大釜健広
 - 7.「維持透析患者における Arterial Velocity pulse index(AVI)の有用性の検討—他の動脈硬化指標との比較—」
大釜健広、鈴木琴美
- 第 21 回千葉県臨床工学技士会研究発表会 エントリー希望演題
- 8.「エコー下穿刺における穿刺困難症例への対処法の検討」岡本 武、鈴木敏弘

第 27 回日本臨床工学会 エントリー希望演題

- 9.「唾液中カリウム測定 of 透析患者カリウム管理への応用」 山本 淳
 - 10.「低 K 血症透析患者における血清 K 値が心機能に及ぼす影響」 平井宏明、鈴木敏弘
 - 11.「維持透析患者における血液流量(QB)UP による IP 値の変化」 長谷川 拓
- 以上

第 176 回 ME 勉強会プログラム

日時:2016 年12月27日(火)18:30~20:20

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:20

●ルーチンセッション 司会 倉持 貴

1.「ニプロ社製改良型 on-lineHDF 用回路の使用報告」 齋藤啓太、倉持貴

●研究セッション

2.「高血流量透析(HBFR-HD)変更前後での β 2-MG の比較」 野田一樹、大釜健広

3.「透析患者における非接触型静脈可視化装置 StatVein(SV)の使用経験」 亀山直也、土屋正二

4.「当院における血清 Mg 値(Mg)の長期観察」 猪又扶美

5.「沈降炭酸 Ca の血清 Mg 値(Mg)に対する影響の検討」 猪又扶美

19:20~20:20

●第 62 回 JSDT 演題希望セッション 司会 大釜健広

6.「High Blood Flow Rate Hemo Dialysis の検討~CKD-MBD 関連因子の変化~」 平井宏明、鈴木敏弘

7.「Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis(HBFR-HD)によるPiに及ぼす影響の検討」 青木芳隆

8.「高血流量透析(HBFR-HD)施行前後での intact-PTH (PTH)の変化」 大釜健広

9.「高血流量透析における貧血関連データの検討」 倉持 貴

10.「高血流量透析(HBFR-HD)による血清 Na の変化の検討」 榎 邦明

11.「対処困難な低血圧に対する個別透析®の効果」 山本淳

今回より発表時間をルーチン・研究は 5 分とします。

理由:内容が盛りだくさんで論点が不明な演題が多いため。

背景、目的、対象、方法、結果、考察、結論の順にシンプルにまとめて下さい。

また評価表の検討を行ってきましたが、改良版は項目が多すぎたため、今後ルーチン・研究用(6項目)、研究会・学会予行用(9項目)の 2 種類とします。評価項目に従いプレゼンの作成を行って下さい。

以上

第 177 回 ME 勉強会プログラム

日時:2017 年 1 月 24 日(火)18:45~19:45

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:20

●ルーチンセッション 司会 猪又芙美

1.「個別透析システム®に使用する A・B 剤溶解装置の検討」 青木芳隆、山本淳

●研究セッション

2.「高血流量透析(HBFR-HD)の実施による Pi 値と P 吸着剤の処方状況の変化」

鈴木将史、石丸昌志

3.「高血流量透析(HBFR-HD)施行前後での β_2 -MG の比較」 野田一樹、大釜健広、内野順司

4.「Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis:HBFR-HD の検討~ β_2 -MG の変化~」

倉田佳和、鈴木敏弘

5.「透析患者の過去最大体重に関する調査・中間報告」 栄養部 菅井啓太

6.「維持透析患者の食事実態調査に基づく栄養基準設定の試み」

~MIHAMA スタディ第 8 報・食塩摂取量と体組成および栄養指標との関係~ 栄養部 中村和彦

以上

第 178 回 ME 勉強会プログラム

日時:2017 年 2 月 28 日(火)18:30~21:15(頃まで)

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:30

●ルーチンセッション 司会:青木芳隆

- 1.「院内感染対策にかかわる基礎知識の周知」 山本淳
- 2.「各院の日本透析医学会年末統計調査(調査結果)と全国調査結果の比較」 竹澤和也
- 3.「透析医学会年末調査報告~既往について~」 猪又扶美
- 4.「2016 年末における当院(佐倉)の透析患者の現況」 井上 学、土屋正二
- 5.「JSDT 年末統計調査とみはま成田クリニック(成田)統計調査結果の比較」 猪又達也、石丸昌志
- 6.「2016 年末における当院維持透析患者の現況」 平井宏明、鈴木敏弘

19:30~21:00

●研究セッション 司会:鈴木 将史

- 7.「個別透析®により常時低血圧症例に改善が見られた一例」 高岡雄太、山本淳
- 8.「高血流量透析(Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis: HBFR-HD)施行前後でのCKD-MBD 関連因子の変化の検討」 長谷川拓、亀山直也、土屋正二
- 9.「採血法の違いによる透析後 BUN 値(後 BUN)の影響」 吉澤翔太、石丸昌志、村上康一
- 10.「長期シャント閉塞となってしまった症例報告」 吉澤翔太、石丸昌志、村上康一
東総地域透析施設連絡協議会 予行
- 11.「当院におけるバスキュラーアクセス管理の現状」 池田航、羽賀浩史、石丸昌志

第 21 回千葉県臨床工学技士会研究会 予行(各7分)

- 12.「当会維持透析患者におけるレストレスレッグス症候群進退要因の検討」 西東恵理、山本淳
- 13.「臨床工学技士による手術関連業務参入への検討」 倉持貴、山本淳
- 14.「維持透析患者における透析治療中の状態評価を行うスコアについて考える」 丸 博光、鈴木敏弘
- 15.「エコー下で穿刺困難症例の対処法の検討」 岡本 武、鈴木敏弘

●教育セッション(時間があれば実施?)

「維持透析患者の Na 貯留に関する知見と考察」 2017年理事長回診より 内野順司

以上

第 179 回 ME 勉強会プログラム

日時:2017 年 3 月 28 日(火)18:30~20:30

場所:本院 5F ラウンジ

18:30~19:10

●他部門セッション 司会:西東恵理

・「維持透析患者の食事実態調査に基づく栄養基準設定の試み」菅井啓太

●ルーチンセッション

1.「全自動 pH/血液ガス分析装置 GASTAT-1820 の電極管理について」竹澤和也、山本淳

2.「当院の受変電設備の更新について」坂口和彦、石丸昌志

3.「当院の昇圧剤使用状況の調査」柴生田啓志、石丸昌志

19:10~20:00

●研究セッション 司会:高岡雄太

4. 高血流量透析(Height Blood Flow Rate Hemo Dialysis: HBFR-HD)施行前後での CKD-MBD 関連因子の変化の検討 長谷川拓、亀山直也、土屋正二

5.「高血流量透析(HBFR-HD)施行による貧血関連データの変化の検討」篠本拓也、亀山直也、土屋正二

6.「高血流透析(HBFR-HD)変更前後での β 2-MG の比較」櫻澤賢悟、山田健司、石丸昌志

7.「オーバーナイト透析における血液流量増加の検討」諏訪友太、山本淳

8.「i-PTH \leq 60pg/mL(:低回転骨)患者増加の要因」平井宏明、鈴木敏弘

20:00~20:30

●研究のヒント「電解質、特に Na と Cl に関する知見」

1. 正井基之院長

2. 内野順司

●日本血液浄化学会予行(5 本)は演題多数により 4 月 18 日(火)18:30からに延期します。

1.「ContinuousSyringeExtractionMethodII(CSEMII)を用いたナトリウム(Na)出納の検討~HD と OHDF の比較~」石丸昌志

2.「Arteriovenous graft(AVG)における実血液流量測定についての検討」羽賀浩史

3.「水処理・透析液作成システム用異常通報システムれんら君(れんら君)の有用性の検討第 2 報」猪又達也

4.「維持透析症例における AVI、API 心疾患スクリーニングの有用性の検討」~ROC 曲線を用いた感度の比較~ 大釜健広

5.「透析液清浄化のモニターに生物粒子計数器を用いた細菌迅速測定は有用か？」
榎 邦明

以上